

〈資料〉

2006年度 学生生活満足度調査報告

学生生活調査委員会

委員長 小林 淑一

委員 田中 和廣

学生部長 吉儀 宏

学生課 松原 広幸

A report on research of student's satisfaction at Juntendo University,
School of Health and Sports Science, in 2006

(Research Committee on Student's Life at Juntendo University,
School of Health and Sports Science)

1. 2006年度調査の目的

本調査の目的は下記のとおりである。

- ① 学生生活満足度の現状を明確にし、その結果を各種委員会等において、現在の問題点の改善・解決の基礎資料として、参考・活用すること。
- ② 現状を踏まえ、定点観測することにより、継続的かつ、時系列的に学生生活調査への展望を明らかにすること。

2. 調査実施期間

2006年7月1日から2006年7月12日

3. 調査方法

アンケート調査（寮祭後、かつ定期前期試験前の必修授業科目の時間に、担当教員の協力を得て実施）

4. 調査対象とサンプル数

本調査はスポーツ健康科学部（スポーツ科学科、スポーツマネジメント学科、健康学科）の1年生331人、3年生314人の合計645人を対象とし

表1 在席人数と回収率

学生	在籍数 (対象者数)	サンプル数	回収率 (%)
1年生	331	257	77.6
3年生	314	272	86.6
計	645	527	81.7

て実施された。サンプル数と回収率の詳細は表1の通りである。

5. 調査項目

調査項目は表2に示すとおり、9項目に分類され、それぞれについて細部にわたり調査項目を設けた。

6. 調査実施先

本調査は、学生部から委嘱された「学生生活調査委員会」が「学生課」の協力を得て計画・実施したものである。

表2 調査項目

基本属性	学科, 学年, 性別
入学から現在まで	本学受験理由, 志望校・志望学科が否か, 入学決定時の感想, 学生生活に対する期待と現状, 入学に対する満足度, 大学生生活の充実度, 悩みの相談相手, セグハラの可否
学生生活 (カリキュラム, 授業内容, 時間割等)	授業の形式や内容についての満足度 (講義形式の授業 (3年生), 実習・演習形式の授業 (3年生), 実技形式の授業 (3年生), セミナール (3年生), の学習や活動, 悲愁科目や選択必修科目の配置, 時間割の編成のしかた, 授業中の教員の姿勢や態度 (全般的), 自分の生き方や考え方への今の学習の影響力 (3年生))
課外活動	(3年生のみ) 所属, 所属の経緯, 退部あるいは転部の理由, クラブ・同好会と学業の両立, 競技力向上, クラブ活動による学生生活の充実, 指導者のクラブ活動の熱心さ, クラブ指導者の学業・進路指導の熱心さ, 課外活動への要望 (1年生のみ) クラブ・同好会への満足度, クラブ・同好会の指導者への満足度
寮生活	寮生活への満足度 (全体的な満足度, 寮内での人間関係, 寮の学習環境)
キャンパスの施設・設備	施設への満足度 (全体的満足度, 屋内運動施設 (体育館など), 屋外運動施設 (陸上競技場, サッカーなど), トレーニング場, 教室 (全般的), コンピュータの設置場所や台数, 図書館の施設・設備, 駐車場・駐輪場, 中央掲示板の見やすさとわかりやすさ)
学校行事への参加態度	寮祭, 学園祭 (順風祭)
大学全体	(1年生) 就職へのサポート体制に対する満足度, 大学事務業務への満足度, 教員の担任業務への満足度, 立地条件の満足度 (3年生) 就職関連項目 (進路への全体的満足度, 進路決定の上での大学の授業の有効性, 進路決定の上での大学教職員のサポート), 事務部関連項目 (大学事務業務への全体的満足度, 大学事務窓口の利用可能時間, 事務部内の整理整頓・清潔さのイメージ等, 事務職員の電話対応・態度等, 要望に対する事務職員の対応の迅速さ), 教員関連項目 (面会希望や担任業務時の全体的満足度, 1年次の担任の教務上の指導・助言, 3年次の担任の教務上の指導・助言, クラブ指導者の教務上の指導・助言, 進路・学生生活への担任等のサポート), 立地条件項目 (総合的な立地条件の満足度)
生活費	(1年生) 月額の生活費, 月額の生活費に対する満足度 (3年生) 月額の生活費, 月額の生活費に対する満足度, 仕送り月額, アルバイト, 収入月額
全体的な大学生活イメージ	全体的にみた大学生生活満足度, 後輩への本学推薦意向, 大学に対する意見

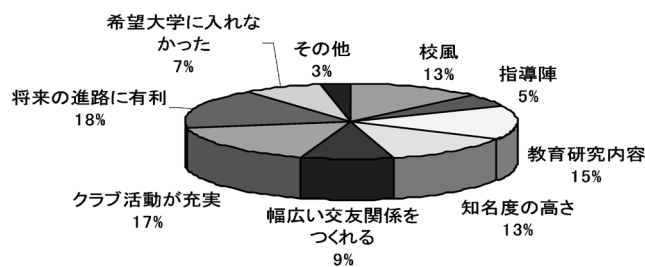


図1 本学への受験理由 (1年生)

7. 調査分析結果詳細

7.1 本学への受験理由

図1, 2で示すとおり, 1, 3年共に本学への受験理由の上位3位は, 「将来の進路に有利」, 「ク

ラブ活動が充実」, 「教育研究内容」で約半数を占める. その他, 「知名度の高さ」, 「校風」, 「幅広い交友関係を作れる」, 「希望大学に入れなかった」, 「指導陣」と続く. 特に注目すべきは「希望大学に入れなかった」からと, 消極的な受験理由

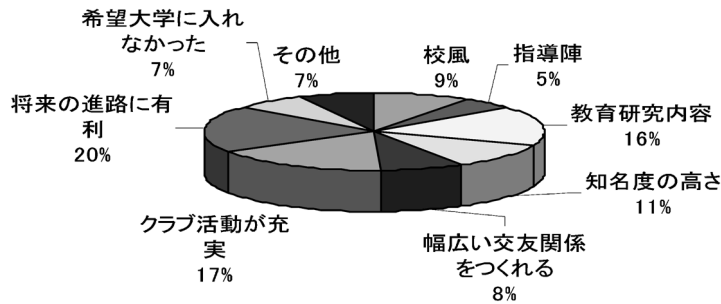


図2 本学への受験理由 (3年生)

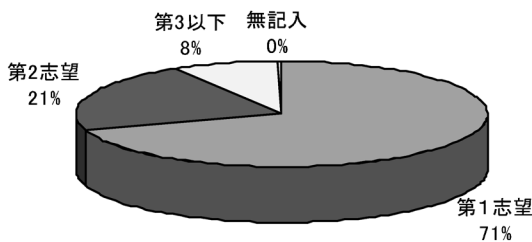


図3 本校はあなたの志望校か否か (1年生)

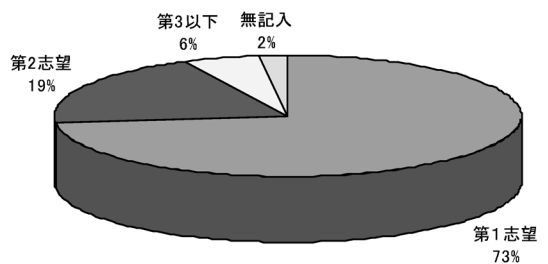


図5 本校はあなたの志望校か否か (3年生)

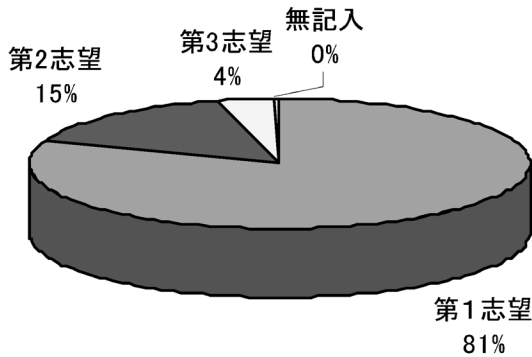


図4 本校はあなたの志望学科か否か (1年生)

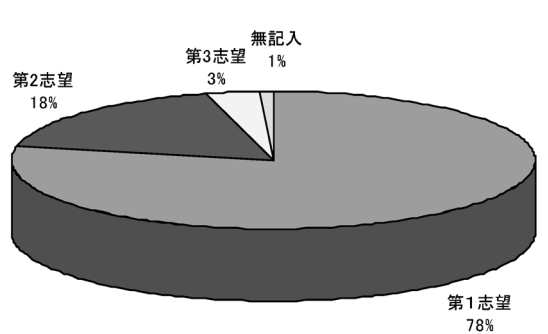


図6 本校はあなたの志望学科か否か (3年生)

を挙げている学生が1,3年生ともに、全体の7%を占めている。また、1,3年生ともに、受験理由に「指導陣」を挙げる学生(5%)が少ないことから、志望校を選ぶ際に「指導陣」の充実が重要視されていないとも考えられる。1,3年生ともに本学を第一志望校であったとするものは全体の70%以上を占め、第一志望学科入学が約80%、そして、結果として本学あるいは本学科に入学が決定

して満足したものが90%を超える(図3~8)。

7.2 入学後の学生生活充実度

しかし、1年生では、図9に見られるように本学での学生生活を全体の60%が「期待通り」とほぼ満足している。入学当初はまだ評価できなかったことが、学生生活に慣れてくるにつれ、期待していたことが現実では満たされていないことが明確になっている。それにもかかわらず、現在まで

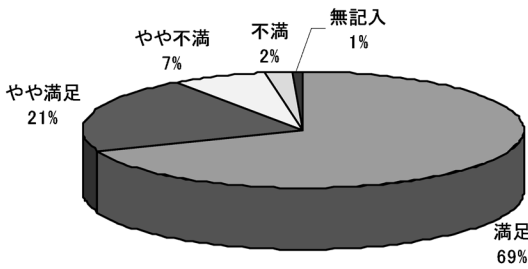


図7 入学決定時の満足度 (1年生)

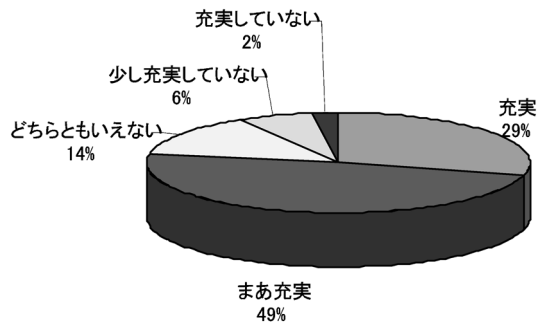


図10 現在までの大学生生活の充実度 (1年生)

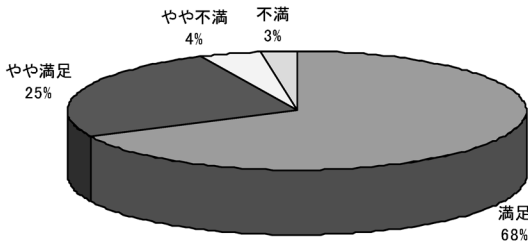


図8 入学決定時の満足度 (3年生)

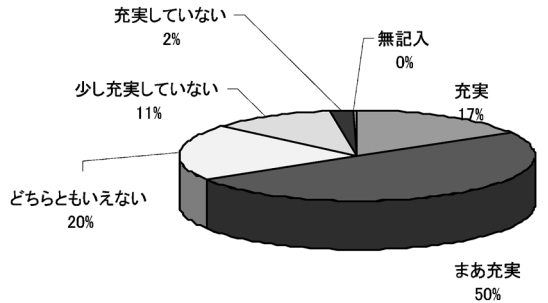


図11 現在までの大学生生活の充実度 (3年生)

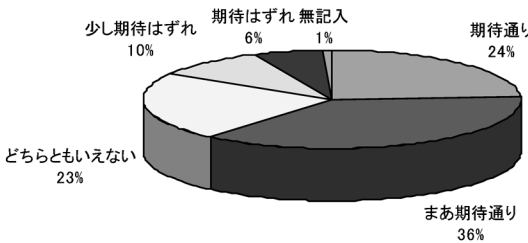


図9 入学前と入学後の大学生生活に対する期待の変化 (1年生)

の大学生生活の充実度に関しては、1年生の78%が「大学生生活は充実している」と感じている(図10)。3年生では、67%と1年生より充実度が低いものの(図11)、1,3年生共に、明確に「充実していない」と答えている学生は全体の2%にすぎないことから、実際には、どの学科においても本学に入学したことは良かったと感じ、入学前に期待していたことは、すべて期待通りとは言いがたいが、大学生生活は比較的充実しており、大きく不満を抱えている様子は窺えない。

7.3 入学後の相談相手

1年生が不安や悩みを相談する相手は、①友人(40%)が圧倒的に多く、②家族(22%)、③先輩(20%)、④自分だけで解決(11%)と続く。3年生においても、学生が不安や悩みを相談する相手の順番は1年生と変わらない(図12, 13)。

7.4 セクシュアルハラスメントの有無

1年生も3年生も、セクシュアルハラスメント(セクハラ)を受けた学生は全体の1%(3名)である。“セクハラを受けたか受けたことがないか”といった質問に対して「少しあったと思う」や「ほとんどないと思う」と曖昧な回答をしていることから、自分自身が受けた行為がはたしてセクハラに該当するのかどうか、学生自身も自信を持って答えられるほど、“どちらかわからない”のが実態であろう。学生・教員を含む関係者全てを対象とした、セクハラに関する研修が必要と考えられる。

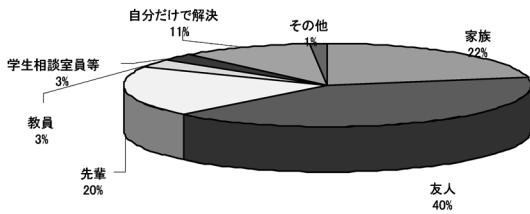


図12 入学後の相談相手 (1年生)

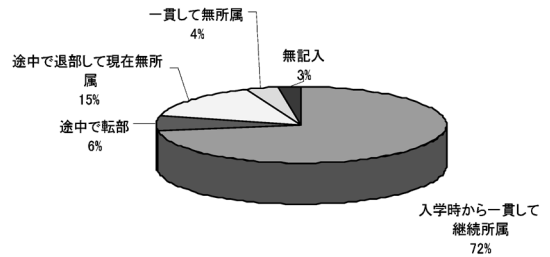


図14 部活動・同好会への所属経緯 (3年生)

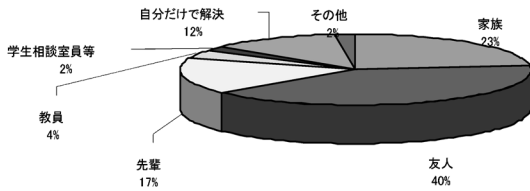


図13 入学後の相談相手 (3年生)

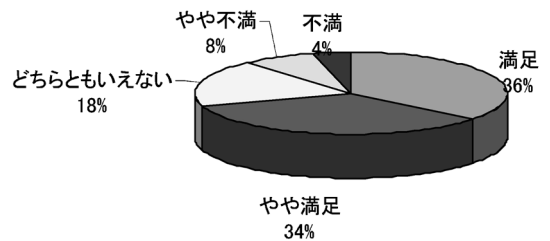


図15 部活・同好会への全体的満足度 (1年生)

7.5 課外活動への参加

3年生の81%がクラブ活動に参加しており、72%が「入学時から一貫して継続的に所属」している。(図14) そのうち、36%が学業と「両立している」と考えており、14%が「両立していない」と答えている。両立しているともいないとも「どちらともいえない」と思っている学生が31%もいることから、継続的に部活・同好会に所属している学生は学業との両立に関して何らかの課題を感じた経験があると考えられる。1年生の70%の学生が部活・同好会の活動に満足しており(図15)、3年生の70%の学生は「部活が自分の学生生活を充実させた」と満足している(図16)。

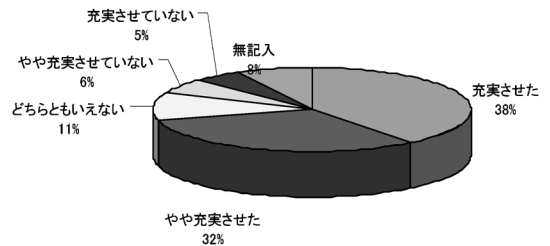


図16 部活動が学生生活を充実させたか (3年生)

1年生の「部活・同好会の指導者への満足度」は55%と高くはない(図17)。3年生ではクラブの指導者が熱心にクラブ指導をしたかどうかに関して、「やや熱心・熱心」と回答した学生は、約半数にすぎない(図18)。さらに、3年生の33%はクラブ指導者が学業や進路指導を熱心してくれたとしているが、ほとんどが「どちらともいえない」(40%)と、前向きに熱心さを評価している様子は窺えない。

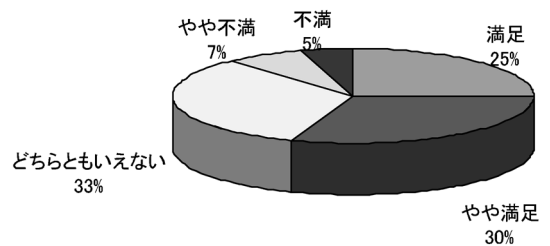


図17 部活・同窓会の指導者への全体的満足感 (1年生)

7.6 寮生活に対する満足度

1年生では、寮生活に対して58%がほぼ満足し

ている一方、20%が何らかの不満を感じている(図19)。

7.7 キャンパスの施設・設備に対する満足度

1年生ではさくらキャンパスの施設・設備に関しては、およそ半数の学生が満足している

一方、不満を感じている学生も約30%と不満度も高い(図20)。3年生ではさくらキャンパスの

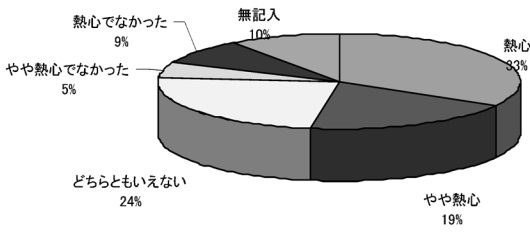


図18 部活・同好会の指導者への満足度 (3年生)

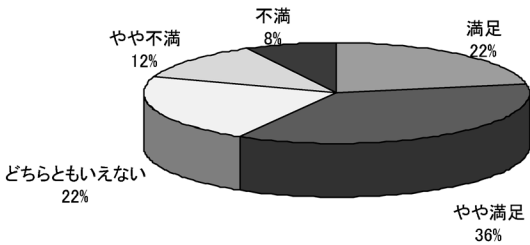


図19 寮生活への全体的満足感 (1年生)

施設・設備に関して、全体的には44%が不満を感じており、満足の31%を大きく上回る。それぞれの施設や設備について満足度の高いものは①トレーニング場 (82%)、②屋内運動施設 (64%)、③屋外運動施設 (58%)、④コンピュータの設置場所や台数・図書館の施設や設備 (各46%)であり、その他の施設・設備に対する満足度は高いとはいえない。一方、不満度が高いものは、①食堂の施設・設備(71%)、②駐車場・駐輪場(53%)、③教室 (43%)、④中央掲示板の見やすさ、わかりやすさ (40%)である(図21)。食堂の施設・設備ではないが、学食の量・質・種類・値段共に改善を望む声は1,3年生ともに大きいことが、自由意見から伺える。

本学部の立地に対しては、1年生では明らかに

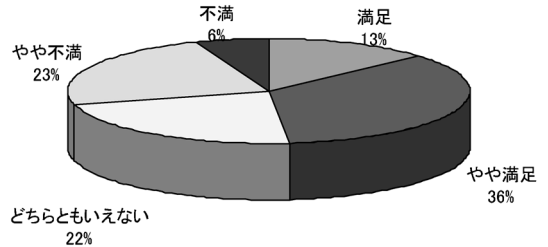


図20 キャンパスの施設・設備に対する満足度 (1年生)

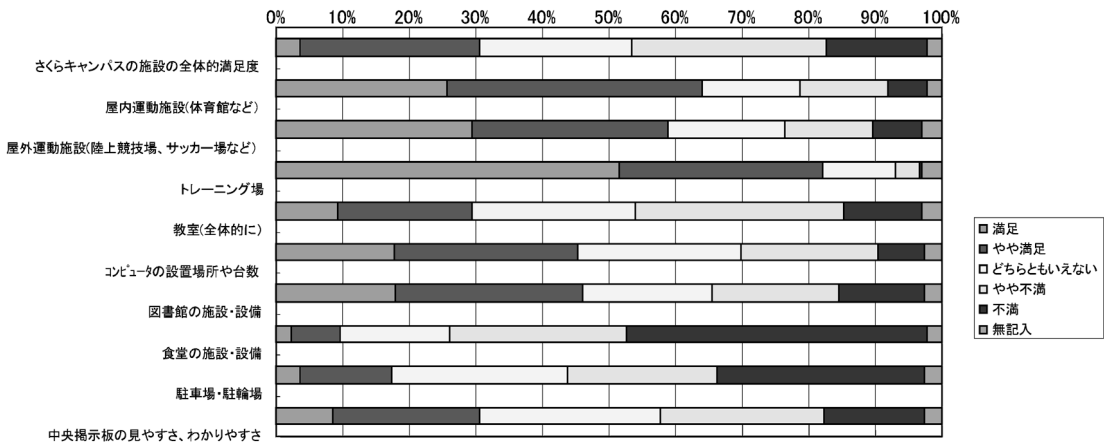


図21 キャンパスの施設・設備に対する満足度 (3年生)

満足している学生 (28%) よりも, 不満足を訴える学生 (42%) が多い。3年生では, 58%が本学部の立地に対し不満を訴えている。

7.8 生活費への満足度・1ヵ月の生活費

1年生では, 1ヵ月の生活費 (食費・家賃・交通費等すべての必要経費) が最も多いのは4万以上5万円以下 (36%), 3万円以上4万円以下 (17%) である。1年生では現在の1ヵ月の生活費に関しては約70%が満足している。3万円以上6万円以下が満足を支える1ヵ月の平均生活費といえるようだ。3年生では, 1ヵ月の生活費 (食費, 家賃, 交通費) が, 9万円以上が38%と最も

多い。次いで, 7万円から8万円 (13%)。3年生で1ヵ月の生活費に満足している学生は54%, 「どちらともいえない」の学生を含むと, 約70%がおおむね満足している。

8. 謝 辞

最後に, 本調査実施に際し, ご協力等をいただいた教員各位と, 学生の皆様に謝意を表します。

(平成19年2月16日 受付)
(平成19年2月16日 受理)